

長 生

平成29年 9 月 号

目 次

会長の言葉	日本長生医学会会長 柴田政宏
宗 教 編	
法 話	得勝寺本荘一治… 1
大道をあゆむ より	
孤独だからこそ	3
人を敬う	4
医 学 編	
胸郭の矯正について	5
随 想 編	
高等講習会を開催して	学術・研修部 土岐雄司… 9
講習会に参加して	兵庫県 小谷野 忍…11
白い御守り	北関東支部 野田将弘…12
不思議なご縁	東京都 山森 誠…14
長生知恵袋	17
ちょっと 美味しい話	20
本部案内	21
支部報告	25
学園便り	25

日 本 長 生 医 学 会

会長のことば

総本山長生寺管長 柴田政宏
日本長生医学会会長

今年の夏も例年とは異なったお天気が続いておりますが、皆様お体ご自愛下さいますようお願い申し上げます。

夏バテとは、色々な意見を言う医師の方がいらっしゃいますが、今年の暑さが厳しい日が続きだす頃には、急に炎症性疾患の患者さんが増加いたしました。これも環境ストレスの影響で免疫力が低下することに起因していると思われます。また暑さが落ち着いた頃に、全身の倦怠感が増してくる事を夏バテと言う方もございます。これも汗の掻きすぎなどで体内のイオンバランスが崩れたり、胃腸の疲労によるものと思われます。

特に高齢者の方は皮膚感覚の衰えなどにより、室内温度の上昇に気が付きにくく、またエアコンの使用を嫌う方も多いので、より身体にダメージを受けがちです。エアコンや扇風機などを上手に使い、夏バテや熱中症に対する注意をもう暫く行って頂きたいと思っております。

この世の中様々な宗教がありますが、浄土真宗を一言で表せば「感謝」の宗教と言っても過言では無いと思っております。

仏教では、この世、あの世と分かれており、あの世の世界でも、地獄の世界と浄土の世界が描かれております。またこの世こそが修練の場であり、地獄であると言う意見もございます。なぜならば我々の心の中では、煩惱から説き離れられる瞬間すらないからです。悟りを開くことの出来ない我々が、浄土に往生出来る道こそ、極楽浄土から我々に救いの手を差し伸べておられる阿弥陀如来様のお力にすぎることなのです。親鸞聖人のお示しになられた「南無阿弥陀仏」の名号に信心決定する。このことにより凡夫である我々が、仏の世界に天生できる道なのです。

我々は日々、何かを願う事を止められません。神仏に頼る気持ちは沸々と常に湧いてきてしまいます。当たり前出来る事、日々普通に行われていることに中々感謝の気持ちなど持てないのが我々ですが、目の前で、自分の為に行われた行動には感謝の気持ちが湧いてくるものです。治療させて頂くと患者さんから感謝の気持ちを受け取ることが多いとおもいますが、我々は治療させて頂く事が出来た事に感謝しなければならないのです。

「報恩感謝」このことを大事にすることで、我々は充実した日々を過ごしていけるのです。

合掌

宗 教 編

法 話

得勝寺 本 莊 一 治



今回は、『歎異抄』を著わされた親鸞聖人さまのお弟子であった唯円房が、聖人さまのみ教えを間違っあくにんて受け止めた多くの門弟、さらには門信徒の人達の異論を歎き、この書を心を込めて聖人さまの眞実のみ教えを広く訴えていこうという強い思いから執筆されたと述べさせていただきました。

1、悪人が救われるとは何か

つまり、異論については前回もふれさせていただきましたが

「どんな悪事を行っても、念仏さえ称えれば往生できるのだ」とありました。聖人さまのお説きくだされた中には「善人ぜんにんなおもて往生をとぐ、いわんや悪人をや。しかるを、世のひとつねにいわく、悪人なお往生す、いかにいわんや善人をや」—(『歎異抄』第3章に)—とあり、これは異論と言うよりも、むしろ親鸞聖人さまの直弟子の人達や多くの門信徒の人達は聖人さまのみ教えを間違あくにんいなく捉えてくださっているように一般的には思われるのではないのでしょうか。

ところが、唯円房は「異なりである」と訴えているのです。その内容は、と言いますと、前回の最後に聖人さまの「悪」に対する思召おしめしを記載させていただきました。

つまり、「弥陀の本願不思議におわしませばとて、悪をおそれざるは、また、本願ばかりとて、往生かなうべからずということ。…」—(『歎異抄』第13章に)—

意味的には(阿弥陀如来の本願がどれほど不思議なはたらきがあるからと言っても、この世でなす自らの悪事を、恐れず、憚らず、平気で行うようでは「本願ばかり」と言って、

本願にあまえ、つけあがることになり、往生は不可能である)とあるのです。

したがって、阿弥陀如来さまのご本願がどれほど不思議なはたらきがあるからと言っても、この世で成す自分の悪事を憚らないようでは、ご本願にあまえ、おごり、たかぶることであって、とても往生できる筈ではあり得ません。まさに「本願ばかり」です。重ねて言いますと、阿弥陀如来さまのご誓願を曲解しているということなのです。

では、その阿弥陀如来さまのご誓願、つまり、ご本願ですが、具体的にはどのような意味があるのでしょうか。

その背景ですが、そもそも浄土真宗では、『大無量寿経』(略して『大経』と言います)という經典の中にこのご「本願」が説かれているのです。

それはお釈迦さまが多くのお弟子(比丘衆、菩薩衆ぼくしゆと言われています)の人々の集まりの中でお説きになられているのです。そもそもお釈迦さまの時代には、インドのマダガ国(摩揭陀国まがたこく)の首都にあった王舎城おうしゃじょう、お釈迦さまはここに滞在され説法をなされた場所の一つだったのですが、この『大経』はその王舎城の東北に聳える耆闍崛山そび ぎしゃくつせんという穏やかな山で一万二千人ほどの仏弟子の人達がお釈迦さまのみ教えをお聞きしたいの願いを込めて集まられたとあるのです。

そうした中で、多聞第一たもんだいいちと言われる阿難あなんというお弟子なのですが、お釈迦さまに25年つきっきりで聴聞されてこられたと言われております。この阿難が全聴衆のお弟子

の人々を代表してお釈迦さまにお聞きした
と言うのがこの『大無量寿経』という經典
の中心になっております。

そこで、このお釈迦さまがお示しくだされ
たのが阿弥陀如来さまのご「本願」の世界
なのです。つまり、この經典は『大無量
寿経』とありますが、その内容の意はこの
經典の名のとおり、「無量寿如来」という仏
さまのお姿を表していると言って良いと思
います。「無量寿」ですから(無限の寿命)さ
らに言いますと、(永遠の生命)のことであり、
その意味背景を言いますと、私共限りのあ
る人間の命の限界を超え「あらゆる」衆生
を救うという阿弥陀如来さまのはたらきを
表しているのです。

したがって、親鸞聖人さまは、皆さん方
もご存知のようにお『正信偈』の最初に
「帰命無量寿如来 南無不可思議光」

(無量寿如来に帰命し、不可思議光に南無
したてまつる)と掲げられておられます。そ
もそも、この表現は「南無阿弥陀仏」のお
名号の意味内容を表わしたもののなのです。
つまり、その由来ですが、インドの国のサ
ンスクリット語と言われる言語には、その
意識の表現として次のように表現されてお
ります。

「namo—amitāyus ナモ アミターユス
namo—amitābha ナモ アミターバ」

とあります。意味的には、

「namoは音訳で「南無」とあり、意識では
「帰命」を表しています」したがって、
「namo」は(私は帰依します)の意味なのです。

さらに、「amitāyusは意識では「無量寿」
を表しているのです」次の「amitābha」で
すが、こちらは「無量の光明」を表してい
ます。したがって、親鸞聖人さまは。お名
号「南無阿弥陀仏」そのものが阿弥陀如来

さまの、あらゆる衆生をお救いくださる
「はたらき」の姿勢をお示しくださっている
と受け止め、お『正信偈』も出だしの最初
に、このように讃偈されておられるのです。

では、なぜ悪人こそが救われるとあるの
でしょうか。親鸞聖人さまご自身、自らを
「愚禿(釈)親鸞」(『歎異抄』最後に掲載)と
名乗られております。つまり、(私はつまら
ない、愚かな僧でしかありません)とおし
ゃっておられるのです。ですから、ご「和讃」
の中では次のようにご自身を表されてお
ります。「浄土真宗に帰すれども 真実の心は
ありがたし

虚仮不実のわが身に 清浄の心もさら
になし」(「正像末浄土和讃」)(浄土真宗に帰
入させていただきましたけれど、外面は
真実らしく見せても、内心は〈虚仮不実〉
つまり、うそいつわりのわが身であって、
清浄の心はさらにありません)とあるのです。さ
らには、「悪性さらにやめがたし 心は蛇蝎
のごとなり 修善も雑毒なるゆへに 虚
仮の行とぞなづけたる」(「正像末浄土和讃」)
(悪いことをしてしまう悪性はとても止め難く、
心は、まさに蛇蝎〈へび・さそり—毒虫—
の如くである。たとい、善い行いをして
も、煩惱の毒が混ざるから虚仮〈おろか、真
実ではない〉の行為と名づけ、真実の行とは
言われぬ)とあります。これは親鸞聖人さま
が、ご自身を「悪人」と強調されておられ
ますが、一般世相の「悪人」とは異なってお
ります。

先に「愚禿(釈)親鸞」とありましたが、
むしろ、「愚人」という自己認識を表してい
るのではないのでしょうか。

では、そうした「悪人」「愚人」が救われ
るとはどういうことなのでしょう。次回、
述べさせていただきます。 合掌

孤独だからこそ

(大道をあゆむP.121 より)

人間というものは一人一人では弱いものですが、大勢集まると、何となく強くなってきます。しかし集団といっても、一つの動機において一緒になる事はあっても、あくまでも個人でしょ。一人一人孤独なのですよ。人間くらい孤独なものはないのです。

いま非常に間違っていると思うのは老人ホームです。有料の老人ホームを山の中につくる話ですがこの間テレビで、三千万出せば有料老人ホームに入れる。八王子から車で20分ほど入った山の中で、とても静かで環境がいい場所ですと宣伝していましたが、仕事に疲れたり、勉強に疲れているから、時には頭を休ませて静かな所でいい空気を吸うというのはいいですよ。何もする事が無くなった人が静かな山の中で、年寄りの同じ顔ばかり見てぼやとして居られないですよ。

人間ある年令に到達すると、楽しみというのは無くなってしまいますね。だからこそ、年寄りや若い人との交流や、そして賑やかな所を望むのです。人間、何が辛いかとって、何もすることがなく一日中過ごす事が、一番辛いんですよ。私はダム工場の診療所にいって、身をもって経験しました。富山県の黒四ダムの工事現場の診療所に、厳寒の二月に四十日間山籠もりしたわけですよ。

黒四ダムは気候のいいとき宇奈月からトロッコ電車に乗って溪谷をゴトン、ゴトンと登って行って、紅葉などをご覧になるために行くのなら素晴らしい所です。しかし、

命は保障しないという電車があるのですよ。落石があった場合は当方一切関知せずという電車なのです。

山の裾野につるはしで掘ったトンネルが有るのですが、トンネルの天上から水がポツタン、ポツタン落ちて来る中を長靴をはいて、ヘルメットを被って懐中電灯を持って行くわけですが、一番長いのは三キロも続いているのです。二時間たって頂上に着かなかった場合はすぐに捜査隊が出るのです。途中、トンネルの切れ目で、雪の中に人が立っていると思ったら、野猿だったのですよ。

私が行ったのは冬場ですから、人夫の方は百人位しか入山していなかったんで、風邪ひいたら薬をあげるくらいです。仕事がないわけですね。テレビといたって白黒で、しかも雪が降ったらチラチラして見えない。先生が忙しくちゃ困るから遊んでいてくれですよ。朝起きて、食事をして、風呂は4時半に沸くから一番先に入ってしまう。後は食事をして寝るだけです。朝から晩まで自由時間ですから一日が長くて長くて、散歩しようと思うと、先生出ないでくれと言われるのです。雪崩にやられる事がありますから、用が有る時は必ず誰かつかますから、一人で外に出ないでくれと言われる。

ある時、現場監督が上に登って見ようと言うからついて登って行ったら、四十メートル下が見える。そこは板を渡してあるだけだから怖くて歩けない。まあ、いろんな事が有りましたが、何の仕事もなく過ごす事はこんなに辛い事かとしみじみ解りま

した。

ですから、年を取っている人達には、出来るだけ若い人達に接する機会をつくってさし上げ、賑やかな環境をつくってあげるのが一番良いのではないかと思います。人

間というのは皆な孤独なのです。孤独が極まった時は自殺をするか、人を殺すかなどという悲劇的なことにもつながりかねません。

人を敬う

(大道をあゆむP.131 より)

「人を敬う」と言うことについて、少しふれてみたいと思います。

皆さま方は、今後この長生医学の道に進まれるわけですが、先程来より何度も申し上げていることですが、この「ご縁」というものを大切にすべきだと思うのです。

たとえ、どのような小さなご縁でも、そのご縁を大事にして、人を敬い尊敬するという謙虚な気持ちを忘れてはいけないと思うのです。

しかし、親しいということはあるけれども、尊敬ということとは、なかなか出来ないことなのです。増上慢は、自分を偉いと思ひこませ、人を尊敬するどころか、人を見下す様になってしまうものです。

時には、自分自身を反省することも大事ですね。自分を知ることによって、始めて、人のよさを見出すことが出来るのです。そういう形でいきませんと、尊敬し合うという事はなかなか出来ないものです。しかし、私どもはそうであってはならないのです。縁あって一緒に勉強する仲になったのですから、人のよさを見出してあげる。この見出すということが必要ではないですかね。

人を悪く思っていると、だんだん自分が孤独になってしまうものです。俺が、俺が

とやっているうちに、いつの間にか弾き出されて、孤独な生活を送っている方もおられますね。

次に治療を施すにあたっては、自分の能力を過信することなく、十分な知識とその病状を正しく把握することが必要でしょう。

そして誠意を込めて治療をさせて頂くことが一番望ましいことではないかと思うのです。

自分のプライドのために、自分の欲の為に患者さんを治療するという事は、大きな間違いだと思います。患者さんに手を合わせて、どうしたらこの苦しみを取ってあげられるだろうかと、よくお考えになって頂きたいと思います。

又、時には、病気以外で困っている事柄でも聞いてあげられるような対応の出来る先生であってほしいものです。患者さんによっては、治療中でも冗談を言ったり、世間話をしながら治療を受けると気が休まる方もおいでになれば、苦しい胸の内を聞いてもらいたいと思ってる患者さんもいるでしょう。

些細な事にも気配りのある先生であってほしいものです。

胸郭の矯正について

***中央支部 5月定例会における27期生
横山恭寛先生の発表を基に、中央支部書記
小林範行が編集したものです。***

胸郭の矯正は、頚椎、胸椎、腰椎の矯正法に比べてあまり施術されていないと思われませんが、私は頚椎、胸椎、腰椎の矯正に胸郭の矯正を加えた事により今迄以上の治療成果を上げることができています。

少しでも中央支部会員の皆様の施術の参考になるならと思い、お話しをさせて頂きたいと思えます。

1. 何故胸郭の矯正が必要なのか？

私の治療院に来られる患者さんの主訴として多いのは、肩凝り、首の凝り、頭痛が挙げられます。

パソコン、スマホの操作や花粉症などの症状（鼻をかむ、咳き込むなど）により身体の前面の筋肉（大胸筋、肋間筋など）や関節（胸鎖関節、胸肋関節など）が縮まり硬くなり、それにより胸郭の動きが悪くなっている人が多く見受けられます。

身体の背面の筋肉操作、胸椎の矯正を行うことによって胸椎が伸び、更に肩甲骨を後ろに引く操作によって、僧帽筋が緩むことで、首、肩、背部の筋肉の緊張が取り除かれ、一時的には良くなった気がします。

しかし、背面だけでなく、前面を含めた胸郭全体の可動域をしっかり広げておかないとすぐ元の縮まった状態になってしまい、

肩凝り、首凝り、頭痛がすぐに再発してしまいます。

胸郭全体の関節可動域を広げることで、その場しのぎの治療にならない様にしていきます。

私は胸郭の運動法も矯正も特別な治療ではなく、通常の治療としています。

2. 胸郭の矯正で治療効果の出た症例

■胸郭上部

鎖骨の矯正（胸鎖関節、肩鎖関節）

【症 例】

交通事故の後遺症による鎖骨のズレ。数年前に車で後方から追突されて、整形外科に通院リハビリを行っていたが、殆ど改善されずに来院に至った。

【主 訴】

左胸鎖乳突筋のつれた感じ、肩凝り、頭痛

【検 査】

追突時に左手だけでハンドルを握っていた為か、左肩関節全体は前方突出しており、関節可動域も狭い。胸鎖関節、肩鎖関節のめり込みがみられる。

【治 療】

・一般操作

特に左肩関節については、胸骨側にめり込んだ鎖骨を肩関節の方に広げる感じで諸筋を緩める。

・矯 正

膝頭の矯正の体勢で、手掌部全体を鎖骨の上へのせ、四指は胸鎖関節に当てる。ま

ずは、左肩を後ろに引きながらストレッチをして肩関節全体の可動域を広げる。その後、矯正するには、胸鎖関節、肩鎖関節を左に引きながら矯正する。

【治療効果の確認】

胸鎖乳突筋のつれが無くなり肩凝り、首の凝りもなくなった。深呼吸し易くなった。

【モデル治療の感想】（毛里美穂子）



肩関節の運動法

・肩関節の運動法

上肢の動かし方が大切。鎖骨、肩関節、肘関節、手関節の順に連動しているので、手首をひねることで更に肩関節は外転、外旋される。

鎖骨を押さえる手は、手掌全体を使い鎖骨の動きに合わせているので、ピッタリと固定されているが押さえつけられている感覚はない。

前面の大胸筋だけでなく、後面の肩関節周囲の深層筋の40%を占めると言われる肩甲下筋がストレッチされ肩関節のつまりが

取れ、また肋骨に付着する前鋸筋も緩むのでとても軽くなる。

矯正する前に矯正の体勢でストレッチすることにより安心感が生まれる。



膝頭の矯正法

・矯正について

今回の場合は、胸椎5-6番と胸椎1-2番に膝を当てて2回矯正された。上部胸椎の場合、膝頭は肩甲骨の間に上手く収まっていた。

また、左肩が前に出て胸骨が左に捻じれていたので、膝頭の力がかかる方向は右斜め上方で、右膝は添えているだけの感じがした。

矯正された瞬間は、胸椎にだけ衝撃がくるのではなく、どこが矯正されているのか分からない感覚。終わった後に、胸骨にじんわり感があり、前面にまで影響していることが分かった。

単に椎間関節の可動域が広がっただけではなく、胸郭前面の動き易さも加わり、呼吸もし易く、胸の張れる感じになった。胸郭が動きやすくなったことで、腰への負担

が減った感じがした。

肩関節の運動法で80%、最後の矯正で100%改善された感じ。矯正をすることで、この効果が持続するように感じた。横山先生の言葉を借りれば、仮止めのネジを最後にキュッと締めた感じ。

- ・渡辺光章先生のアドバイス

胸椎1-2番の矯正時には、膝頭が肩甲骨に当たる可能性が高く、熟練の技が必要なので、経験が浅い場合は控えること。

■胸郭中部

胸骨の矯正（胸肋関節）

【症 例】

長時間のパソコン業務による胸肋関節の捻れ。

病院の検査では異常無し。

【主 訴】

肩凝り、首の凝り、息苦しい、呼吸困難、少し動くと動悸がする。

【検 査】

肩関節全体および肩甲骨が前方突出している。胸郭が前方に変形することで、前面の胸肋関節は陥凹し、背面の横肋関節（肋骨結節関節）が捻れている。

【治 療】

- ・一般操作

特に胸肋関節、肋骨の運動法。

（患者自らの手根部を胸肋関節の上に当てさせ、その手の上から陥凹した胸肋関節を広げる様に肋骨ごと動かす。）

- ・矯 正

膝頭の矯正の体勢で、四指を胸肋関節に

あてる。胸椎は下からめくり上げる様に矯正する。（この動作をゆっくり行うことで矯正前の運動法として活用出来る）

【治療効果の確認】

肩凝り、首の凝りが軽減し、動かし易くなった。

広がっていた肩甲間部が戻り、自然に胸が張れるようになり、呼吸し易くなった。

■胸郭下部

肋骨と横隔膜の操作

【症 例】

自覚症状のない呼吸障害

（横隔膜の拘縮により呼吸時に無理に胸郭を広げようとして僧帽筋に力が入りそれによる筋肉拘縮の神経圧迫症状）

【主 訴】

右側首から肩の凝り。右手の痺れ。

【検 査】

右背部の筋緊張。深呼吸をさせると右背部につれる痛みが誘発される。仰臥位にさせると右肋骨周囲の動きが悪い。

【治 療】

- ・一般操作

特に右肋骨をめくりながら右季肋部を緩める。

- ・矯 正

胸郭全体を引き上げる為に、右肋骨を広げる様に膝頭の矯正をする。

【治療後の確認】

深呼吸し易くなり、右背部につれる痛みは無くなった。無理なく呼吸が出来るようになった。

【モデル治療】（菊地豊）



肋骨をめくる操作法

・検査

2、3回サッと背部を軽擦し、「呼吸してみて」と言われ、呼吸してみると右腰背部に痛みを感じた。深呼吸すると右肩甲間部にまで痛みが広がった。「右の横隔膜が使えてない」と言われた。仰臥位で右季肋部を押圧されると異物感があつた。他の先生が押圧しても硬いのが分かった。

・肋骨をめくる操作

この操作をされただけで、呼吸が楽になり、腰背部の痛みも無くなった。押圧してもらおうと異物感もなく、硬かったはずの右季肋部の方が柔らかく感じた。

・膝頭の矯正

深呼吸しても肩甲間部の痛みは感じなくなり、首から肩の辛さも無くなった。支部会が終わる頃には足も暖かくなり、2、3

週間経った今も呼吸時の痛みはない。

・モデル選定

支部会の研究発表当日、横山先生から呼吸法をやっているかと問われました。やっていないと答えると、何故だかモデルの指名を頂きました。

実を言うと、肩の痛みがあり、モデルをやりたいと思っていたが、中央支部では年間のモデルが決まっていたので、諦めていました。

横山先生が、胸郭下部の症例と自分の症状が同じだと何故判断したのか、「それ伝わったから、ヨロシク」と言われました。呼吸法について問われた時には、すでに自分の症状がわかっていたのか？と思った不思議な体験でした。

・横山先生から一言

数回背中を擦っただけで横隔膜の拘縮まで見抜けたことは、経験とプラナ。会報平成29年5月号の知恵袋第4弾に書かれている修伽先生の「診ただけで色んな事がわかる様になるし、身体の悪い所だけではなくて精神状態もね」のお言葉通り。

・編集から

発表を聴く会員を見渡しなが、一直線に菊地先生にモデルをお願いした後、「午後のモデルにピッタリ」と横山先生が漏らしたことを聞き逃していません。あくまで、私見ですが、本当はモデル選定の時に見抜いていたのではないかと思います。

高等講習会を開催して

学術・研修部 土 岐 雄 司

平成29年7月8日土曜日盃盆会の前日に「高等講習会」を開催致しました。

以前より「本部講習会」の再開の要望が有りました。30年位前の「普通講習」三日間「高等講習」三日間に「長生医学会」を合わせて一週間『長生医学』漬けは無理だとしても、新しい形で一日だけでも講習会を開催出来ればと思い、会長の柴田政宏先生にお願い致しました。



高等講習会の冒頭に、会長の政宏先生より現在の長生医学会の置かれている社会的な状況と将来の展望（柔道整復師の保険診療、あん摩マッサージ指圧師の保険診療の検討。介護保険制度の訪問マッサージ、無資格者のリラクゼーション等）それらを踏まえた上で患者さんに『長生医学』が選ばれ続ける為に何をしていくべきなのか、貴重なお話を聞かせていただきました。

また、前会長の柴田正義先生が確立された『高齢化社会に備えて事故を起こさない安全な治療』を継承しつつ、危険性の回避が出来る判断力を養い、安全な矯正法を積極的に施術することも、『長生医学』の優位性を保つ上で重要だと感じました。その為には基本を忘れずに日々精進し、治療に取り組んでいくことが大切だと思います。

更に、技術の習得にはガムシヤラな練習だけでなく、上手な人のモノ真似も有効です。真似したうえでよく考えることにより、分かることや気付くことが有り、先輩方の意見を参考に動作の目的と効果を理解することが大切だと気付かせていただきました。



実技としては頸椎の様々な矯正法の理論と危険性の検証をした後に、安全性と効果を考慮した矯正法をご指導いただきました。いきなり体得出来るものではありませんでしたが、コツコツと練習していけば誰でも出来るようになるのではないかと期待しています。



その他、様々な体制での8の字操作や膝頭の矯正法についても教えていただき有意義な講習会となったと思います。

今回参加した先生方は、長生学園卒業十年以内の50期台の先生方が多く、約半数を占め、その他幅広い経験年数の先生方に参加、協力していただきました。

参加した先生方にアンケート用紙を配り、多くの先生から回答をいただきました。概ね好評でしたが、実技の時間や相互治療の時間を増やしてほしい。受付時間と開始時間が紛らわしかった等の意見が有りました。また、次回の開催を希望する意見がとても多く有りました。

その他、アンケート以外でも、「高等講習会」の「高等」の文言で敷居が高く感じ参加を躊躇した。講習内容が全く知らされていないので参加を躊躇した。昔の「高等講習」とイメージが違う等の意見を耳にしました。

次回、より良い講習会を開催できるように、参考にさせていただきたいと思っております。

最後になりましたが、今回の高等講習会の開催にご協力いただいた多くの先生方に御礼申し上げます。ありがとうございました。

高等講習会の開催を快諾して下さった会長の柴田政宏先生に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

合 掌

講習会に参加して

兵庫県 小谷野 忍

元々小さな御縁で、長生学園に入学した。卒業後10年以上の間も、支部会や医学会にも参加していない。消えてしまいそうな御縁だ。唯一機関紙でつながっているが、意識する事を毎月その内容から決めているという程度だ。

誌上の写真でしか知らない政宏先生の文や言葉は、いつも気になっていて、講義を一度受けてみたいと思っていた。今回その気持ち私の重い重い腰を上げ、東京までの距離を越えさせる動機付けとなった。

問い合わせた時は、まだ講習内容は決まっていなくて、7月号を見てビックリ。脊椎矯正だ。デキナイ。不安と後悔が始まり、当日参加者の名札を見て、それはピークに達した。場違いかも知れない。しかし結果的には、一コマ目で来て良かったネと、友人と喜んだ。

何を良いと思ったのだろう。全コマを通して、見える花に至る、見えていない根の所(5月号酒瀬川先生より引用)を、正しく平易に見せてもらった様に感じる。正常可動

域を越えず、よく詰めて、重心を上下左右へ少しずらすだけ。これは一押しなどの操作にも当てはまると思う。手でなく体で。

「矯正＝デキナイ」のイメージが、少し緩んでくる。矯正以外にも施術のヒントになる事が沢山あった。先生の手元を大きく映すスクリーンも良かった。お弁当おいしかったなあ・・・等々。

講習会直後の施術では、姿勢や左右差をもっと気にしている。一方へ大きく曲がっていると思うと、手が習った方法を試みようとして動いている。8の字は、よく詰めたストレッチとして用いている。事前にやろうと考えたのではなく、自然に出てきた。私なりに変化が訪れたようだ。

今回後悔している事が一つある。先生からの提案であったが、ノートを取らなかった事だ。思い出せなくて残念な思いが残る。全く同じ内容の講習会があるなら、もう一度参加したいと思う。(アッ！これがネライですか?)

合 掌

白い御守り

北関東支部 野田 将 弘



6月1日、三峰神社に白いお守りを買いに
出掛けました。白いお守りは毎月1日にしか
買うことが出来ず、他の日に買いに行った
ところで購入出来ない、とてつもなく希少
価値の高い品です。しかも1人1帯。この日
を逃すと翌月まで手に入らないので、午前
5時に自宅を出発しました。午後3時にや
っと手にすることができたのですが、この
間ずっと車の中で渋滞にはまり身動きが取
れないまま頂上を目指していたのです。後
から知ったのですが、地元の人ですら購入
するためには5時に出発するらしい。東京



渋 滞

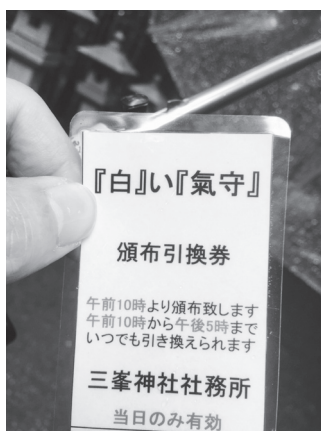
に近い川口から5時に出ることは、無謀にも
程がありました。山の麓からピクリとも
車が動かない。1時間に50メートルぐらい進む
感じ。通常の渋滞は、高速ですらインター
がありトイレ休憩コーヒータイム、食事が
行えます。しかし、三峰神社道中は逃げ場
がありません。車から降りる事も出来な

ければ飲み食いも買いに行
く事もできないのです。
おまけに、朝早く出た為
睡魔に襲われ危うく前の車に接触しそうに
なることもしばしば。そんな中、頭の中
では、色々な事が浮かんで来るのです。この
まま、車の中でのいるとお守りが売り切れ購
入出来ないのではないかと心配しては
お守りを手に入れないといけないか？これが
噂の苦行なのか…ヤクルトを飲むと健康に
いいとは言いますが本当に健康にいいのは
ヤクルトを配達しているヤクルトレディー
なんじゃないか？など…。どうでもいい事
が頭の中を駆け巡るのです。一向に進まな
い状態。とうとう食料品が底をつき絶対絶命。
そんな時、カバンの中を漁ると一個のアメ
を発見。これ程アメを愛おしいと思った事
がありません。因みに、食べ終わるまで3回
に出し入れして食べたのは初めてです。意
識が遠のくのをつねりながらようやく着い
た頂上。関東一ご利益があると聞いていた
が関東一危険な場所だと悟ると共にここは地
獄の三丁目（山頂目）冗談混じりでも自分
に言い聞かせないと帳尻が合わない気がし
てなりません。本陣に近づくとつれ
で空っからのスポンジに水を含ませたよう
にパワーがチャージしていくのが分かりま
した。そしてやっとの思いで白いお守りを
購入。お守りは木箱に入っていて、とてつ

もなく気が出ているのが分かりました。

三峰神社は、本来強い意志を持って登らないと気持ちが負けてしまう山だそうで、体調が悪い方は登らないようにとの事。因みに初めて三峰神社を目指した時に残り1.5kmを目前に具合が悪くなって下山しました。あまりこのような事がないので不思議に思っていました。その時は山に呼ばれていなかったと周りからの指摘に妙に納得してしまい山の怖さを知りました。山に登ることを勧められると決まって「人生という険しい山に登っているから」と断る私がいましたが…さすが三峰パワー。

あっ、そうそう！三峰神社は見所満載です。通常神社には狛犬像が鎮座していますが、



三峰神社お守り整理券



三峰神社お守り

三峰神社はオオカミです。オオカミは大神とも書きます。

また、三峰神社は別名「天空のパワースポット」とも言われています。というのも日本武尊（やまとみことのたける）が、あまりの絶景に感動し気を失いかけたとか…。是非訪れて五感いっぱい感じて下さい。ついでというわけではありませんが、今年10月に三支部合同医学会があります。2日目の観光でここを訪れます。多くの先生方の知識と技術、そして三峰パワーを分けて頂けるはず。関東一のパワースポット！？たくさんの先生のご参加をお待ちしております。



三峰神社参拝

不思議なご縁

東京都 山 森 誠



一昨年9月より、週に一度ですがまた中野のクリニックに勤務することになりました。

もう20年も前の事です…ちょうど私が長生学園の3年に上がる頃でした。2年生の後半に親父に肺がんが見つかり、だいぶ進行していて手術ができない状態で…とりあえず抗がん剤で様子を診ましよう。と即入院となり、その時、親父の馴染みのお店のママさんが（乳がんか子宮がんの）手術のあと、あるワクチンを継続接種していてその後、再発もなくとても調子が良いので、お父さんにどうか？とそのワクチンの診療所を紹介して頂きました。ワクチンを接種するにあたって使用上の説明や注意事項等ありますので、素人の母が行くよりは当時、長生学園に通っている私が取扱いを訊きワクチンを取りに行くことになりました。

その診療所で出会った先生が、今の中野のクリニックの院長です。その診療所でたまたまうちの担当になった先生よりワクチン使用についての説明を受け、その後「なにかご質問はありますか？」と訊かれましたので、「父にマッサージとかはどーなんでしょうか？」と尋ねたところ、先生が「良いですね。マッサージなどは免疫力が上がりますので免疫療法の立場からみても良いと思います。ただ毎日となると金額もかかりますからね。」と言われたので「実は私、マッサージの専門学校に通っているん

です」と答えました。

「何処の？」「長生学園です！」「えっ？君が？ホント？長生学園…知ってるよ！だったら僕、中野でクリニックやってるんだけどさ！勉強がてらウチに来ない？お父さんのワクチンも僕のクリニックに届けてあげるからさ」正直、このワクチンの診療所は早朝より毎日70～80人並ぶんです！多い時は100人！私は呆気にとられていましたが…「でもこれはラッキーな話しです！クリニックで勉強もできて、並ばずに親父のワクチンが手に入る！」

と…いう訳で週に一度、中野のクリニックでお手伝いっていうか、下働きみたいな事が始まりました…中野のクリニックは、ワクチンの癌患者も多く来院されていて基本は内科です。隣の部屋には施術ベットが2台と、6～7台家庭用電子治療器も設置されていました。ここで何をするかというと、クリニックに来た患者が院長の指示で次々この理学ルームに入って来るんです。癌患者に対して免疫療法的なアプローチを兼ねての試みもあるんですね。当時、癌細胞の増殖抑制に効果が有るとされているワクチンを否定している医師も多い中、この先生は東洋医学や免疫療法など、少しでも可能性が有るのならそれを否定しないで癌患者の為に役立てたい！との考えでそれを実

践され診療されているのです。そんな先生なので当時、長生学園の学生だった私に声を掛けてくれたんだと思うんですが…

それをなんの前知識もない学生の私に…「山森先生！お願いします！」と、いきなり多数の患者を任すのです！この無茶振りはそーとーなもので…出来ません！とか、わかりません！などと言うひますら与えてくれません…なので症状を訊いて仕方なく治療器を掛けたり、必要な時は覚えての拙いマッサージで治療させられたりと…なにしろ午前中だけでも10人以上…多い時には20人ぐらいの人が入って来るんです…それを私一人で対応させられて…しかも患者からは…クリニックの男性職員は院長と私だけ！白衣を着ている私のことも大半の人は東洋医学系の医者だと思っているんです！今更、学生です…なんて言える状況ではありません！ただ、なかなか出来ない現場の医療の勉強もさせて頂きました…レントゲンを診ながら「ここはこーだろ？これが問題の箇所だよ」患者との問診の時も医師や看護師と同等に扱ってくれて「山森先生！一緒に来て！」と診察室で横につけてくれて現場のやりとりも直に見ることが出来ました。

その後、学園を卒業する頃に院長から「山森先生！ここの理学ルームで開業しちゃえば？もう患者もついてるんだし…部屋代もかからないし…と願ったり叶ったりの夢のような条件です！週に一度、クリニックのお手伝いをしながら先生の講演がある

時は埼玉の熊谷まで助手というか、カバン持ちでお供した事もありました。またクリニックのゴルフコンペや企業パーティなどにも助手として呼んで頂き（費用は全てクリニック）本当に可愛がっていただきました。しかし、うーん医者って…なんか偏屈で変わってる人が多いですよね？

この院長もご多聞にもれず…思いつきで喋ったりするので言ってることが2転3転…院長とは同じ干支の一回り違いです！まだ若かった私は、とうとう「ア一面倒クセー！自宅で開業するからもういいわ！」…ドカーン！という訳で決裂…次に来た鍼灸マッサージ師に患者の引き継ぎを頼み、その後、自宅で開業して今日に至る訳なんです…なんでまた20年ぶりに中野のクリニックに行くことになったのかということ…

実は3年程前より背中にコブというか？2～3センチぐらいの腫瘍みたいのができまして…大きくなる前に切除しようと近所の整形を訪ねたのですが…「あっ？そーだ！久しぶりに挨拶がてら中野のクリニックで診察してもらおう！」と20年ぶりに出かけてみたのです…すると院長が「おおー！山森先生！お久しぶり！元気そーで…今日はどうしたの？」「いやーご無沙汰しております…いろいろご迷惑かけたままで失礼してしまっ…」「じつは背中に…」という訳で近くの総合病院を紹介して頂き、数週間後に無事にオペは終了…抜糸が終わって落ち着いてから菓子折りを持って伺いました…ところが土曜日だったので院長が不在だった

為、対応してくれた若い看護師さんに事情を話して帰ると…2～3日して治療院に院長から電話がありました「山森先生！留守にしてすみません…今度、久しぶりに食事でも行きましょう。また連絡します。」と電話を切りました。「またどーせ社交辞令だろ？気分屋だからな。」と気にもとめてなかったのですが2カ月くらいして突然、院長より電話があり「来週、新宿でお会いできませんか？」と会うことに…食事をご馳走になったあと連れて行かれたのが歌舞伎町の院長の馴染みのお店…いわゆる少しエッチなピンク系（書けません）「相変わらずだな？何か頼み事があるんだな？こんな古典的な色仕掛けで…ったくエロエロビームに屈するかよ！（瞬殺撃沈…）」「先生！何か私に何かお話があるんじゃないでしょうか？」すると院長が…「実はまたクリニックを手伝って欲しい。」との事でした…正直、先生には大恩が有ります！今思ってもあの時の院長からの無茶振りの患者経験がなければとても開業なんか出来ていないだろうし…それに親父の癌の事でも世話になっておきながら後ろ足で砂かける様なかたちのままだったので…どこか気にもなってもいきました。

それにあれから20年…今の自分なら院長にもクリニックにも少しは恩返しができる

んじゃないかな？と思い引き受ける事になりました。

週に一度の慣れない電車通勤ですが、クリニックの女性スタッフからは「山森先生の来られる水曜日は院長の機嫌が良いので助かりまーす！」なんて言われています。正直、今の自分をクリニックで試してみたかったのもありましたし…闘病中に開業した俺の治療院を見る事なく逝ってしまった親父にも…また中野のクリニックで先生と一緒に働ける事になったよ！と…遺影に報告も出来ました…振り返ってみると人の縁って不思議ですね？20年間付き合いがなくても切れない人とは切れないんだなあ？と…つくづく思いました。もちろんクリニックではいきなり水銀の血圧計を前に…「〇〇さんの血圧測って。」（こんな聴診器使う血圧計なんて長生学園の授業以来だよ…無理）「山森先生！〇〇さんの胸部レントゲン準備して。」（レントゲンなんてセットした事ねえーよ！）患者の前でも容赦はありません！はあ～相変わらずの無茶振りは健在です！でもまた先生と一緒に働けるとはなんか嬉しいですし不思議です…本来は男女の縁に対しての言葉らしいですけど…まさに…縁は異なるもの味なもの… ですね。

合 掌

一般操作におけるプラーナ伝達 “治癒スイッチ”

悩みや疑問、気軽に聞いちゃおう♪

～みんなで作る“長生知恵袋”～

横山：前は、小林勝先生（以下勝先生）が一般操作で大切にされているポイント“把握”は、プラーナ伝達の基本であることを再認識しました。勝先生の師匠である故小林不二雄先生（以下不二雄先生）は、プラーナを左手で感じていたそうですが、勝先生の治療を受けられた毛里先生が「勝先生の左手からたくさんプラーナが出ていました」という感想も興味深かったですね。



大村：不二雄先生といえば・・・北海道連合会50周年の時、北海道大学でシンポジウムを開催したことがあります。一般参加者とドクターたちに長生医学を理解していただくため、当時、日本長生医学会副会長だった不二雄先生に、会場から希望者を募り治療のデモンストレーションをお願いしたのですが、不二雄先生はその際、検査もせずいきなり施術を始められ驚いた記憶があります。



横山：勝先生にお聞きした話ですが、不二雄先生は治療室でも特に診断はせず、悪いところも一度に2か所しか聞かなかったそうです。

大村：それはどうしてでしょう？

横山：筋肉を緩めていると、“悪いところ”で手が止まり、そこを徹底的に緩めるだけで、患者さんは勝手に良くなる。だから特に説明もしないそうです。

大村：“目黒の仙人”と呼ばれた不二雄先生の一端を垣間見た気がします。おそらく・・・不二雄先生は一般操作の中で、患者さんの“治癒スイッチ”をONにする確信があったのだと思います。

横山：治癒スイッチ？なるほど！初めて聞く言葉ですが、長生会員ならではの“あるある”ですね！以前、河野千恵子先生に患者さんの悪い所はどうやってわかるのですか？と伺ったところ「把握していると勝手に“悪いところ”に引っ張られるように導かれるのよ」と仰ってましたが、大先輩たちが言う“悪いところ”には“治癒スイッチ”があるということですかね？

大村：治癒スイッチは造語です（笑）機関誌7月号の勝先生の談話に、把握しながら“米粒のようなしこりを探す”とあったので、スイッチのようなものかな・・・と（笑）北海道の木原正己先生は、機関誌2月号「犯人は遠くにあり」で、肩の痛みの治癒スイッチが腸骨にあったと報告されていましたよね。

横山：木原先生は、腸骨の変位を痛みの原因と見極め、肩はそれを長い期間放置していたために起きた補正作用なので、腸骨を矯正すると、肩は触らなくても自然に治ったと書かれていました。つまり治癒スイッチとは、西洋医学では特定できない、骨格や筋肉など、身体の構成部分に生じた、正常な可動性や機能を阻害している“治療のポイント”ということですね。

大村：その通りです。

横山：治癒スイッチを探すため、一般操作で気をつけていることはありますか？

大村：普段の治療から、患者さんの悪いところばかりでなくて、正しい骨格もしっかり触れていることで、患者さんが訴えなくても、悪いところでは違和感を感じる。それが治癒スイッチを探すヒントになります。

横山：何気なく全身の一般操作をしてはだめですね。手でしっかり把握して、常に触れた場所が良いのか悪いのかの診断が必要なのだと。その積み重ねが治癒スイッチの発見につながるのですね。

大村：はい。自然治癒力を損なわせている根本病因を、プラーナで緩め、あるいは矯正して、治癒スイッチをONにすると、全体の骨組みの構成が改善され、内部の体液やプラーナが正常に流れるようになり、身体は健全な機能を取り戻す。つまり自然治癒のプロセスを起こさせることが、“勝手に治る”あるいは“自然に治る”という表現だと思います。

横山：不二雄先生の、診断しないで即治療の意味が分かりました。不二雄先生は一般操作を通し身体を分析しながら、自然治癒を引き起こすポイントを探していたのですね。
大村：興味深いのは、小林先生親子も河野先生も“導かれるように自然に手が止まる”と仰っていることです。私たちは、とにかく思い込みや固定観念で自分に都合の良い診断をしがちですが、導かれるように自然に手が止まるのは、ある意味自分の凝り固まった顕在意識を遮断することかもしれません。

横山：頭でゴチャゴチャ考えず・・・つまり知識や経験をもとに潜在意識で感じろというのでしょうか。

大村：北長連の遠隔療法の達人に教えていただいたのですが、“遠隔療法のコツは、治そうという我をなくし、出来るだけ客観的に、空の上から患者さんを観察するようなイメージを持つこと”なのだそうです。つまり俯瞰（ふかん）ですね。

横山：俯瞰とは、鳥の目のようになり上から全体を見渡すことですか。

大村：はい。小林先生親子や河野先生は、一般操作をしながら、潜在意識で全体を広く見渡しているのだと思います。

横山：つまり長い臨床経験で、潜在意識による俯瞰力が身につくと直観力が強くなり、導かれるようにポイントで手が止まるということですね。これで河野先生の仰っていたことが分かりました。

大村：木原先生のポイントを絞った的確な治療も、優れた俯瞰力のなせる技だと思います。私たちの意識の95%を占める潜在意識がプラーナの源で、とんでもない力を持っていることを、私たちは修伽先生から学びましたが（機関誌5月号参照）、確かにこれを使わない手はありません。

横山：長生の臨床家として実績を積み重ねていくと、顕在意識から潜在意識の治療になり、プラーナの力で診断と治療が融合していくのでしょうか。河野先生は「手が悪いところに導かれるようになるのは、長生療術の入り口に入って、長生療術師の仲間入りをしたことよ」と仰っていました。

大村：入口の前でたたずんでいる段階の私でも、集中力が高まっている時は、ごく短時間で劇的な効果が得られることを体験します。

横山：パッと診つけて、パッと治す！（笑）診断即治療、長生医学の素晴らしいところですね。

大村：長生上人は、ひとり2～3分で治療を終えていたそうです。

横山：潜在意識を活用し、あっという間に治療スイッチをONにしていたのですね。

大村：早く入り口から中に入れるよう精進します。

ちょっと 美味しい話

男性60g・女性50g。

ご存知の通り、これは厚生労働省が推奨している一日に必要なタンパク質の量です。だからといって男性が60gの肉を食べて足りるか、といいますと実は全く足りません。例えば、牛肉（赤身・脂無し）100gに含まれるタンパク質は19.5g。という事は300g以上食べないと推奨タンパク質量の60gにならないんです。

さらに言えば、運動選手や仕事で身体を酷使している人はさらに多くのタンパク質を摂取する必要がある、との説も。つまり私たち長生治療師は日頃カラダを酷使していますので、より多くのタンパク質を取らなければならないのです。しかし霜降りではアブラが多すぎます。やはり赤身、できれば上質なものを取りたいですね。

そんなわけで4月の医学会のあと、上質なタンパク質を摂取しにやってきました。川崎駅から歩いて5分「カリフォルニアラウンジ」。熟成肉の専門店です。

今回は鹿児島の酒瀬川先生ご発声の元、10人以上の先生が参加されました。

ここに写っているメインの牛の赤身熟成肉の他にチーズの盛り合わせやガーリックシュリンプなど、バラエティに富んだメニューに舌もお腹也大満足。お酒よりも食事に夢中になる先生方続出でした。やっぱり肉をガッツリ食うとなんか元気がでますよね!!

さて、不定期でもいいからこれからもこのような催しをしたいね、と酒瀬川先生と話しております。若い先生方もぜひ参加してください。一緒に美味しい肉を食べながら楽しい時間を過ごしましょう。美味しそうだな、と思った先生は酒瀬川先生や新海にぜひ声を掛けてください。次回開催が決まったらお誘いいたしますよ！（広報 新海）



=本部案内= ホームページリニューアルのお知らせ

長生医学会は2017年6月1日、ホームページのリニューアルをしましたので、お知らせいたします。

今回のリニューアルでは、ご利用される会員の方々に、長生医学会の最新情報や会報バックナンバーなどをわかりやすくお伝えするため、構成やデザインを全面的に刷新いたしました。

●リニューアルポイント

1. 様々なデバイス環境での閲覧に対して最適化

パソコン、スマートフォン、タブレットなどのデバイス(機器)に対して最適な状態で閲覧できるようになりました。

2. 会報バックナンバーの掲載

対象ページ：<http://chousei.jp/topics>

2017年6月号から会報をインターネットでも閲覧できるようになりました。

※2017年6月号以前のバックナンバーに関しては一部抜粋した内容のみの掲載となります。

長生医学会会員のみ閲覧可能です。

なお、このバックナンバーを閲覧するには、パスワードが必要になります。

パスワード入力内に `igakukai` と入力し、送信をクリックして下さると閲覧可能になります。

3. 会員住所・連絡先変更窓口の開設

対象ページ：<http://chousei.jp/inquiry/change>

住所や連絡先の変更は、こちらから可能です。

※住所変更の方は、旧住所(郵便番号・住所・電話番号)と新住所(郵便番号・住所・電話番号)を両方記載が必要となります。

なお、ホームページのリニューアルにともない、一部ページのURLが変更になりました。

ブラウザの「お気に入り」「ブックマーク」等に登録されている場合は、新しいサイトのURLへの登録変更をお願いいたします。

長生医学会は、今後もコンテンツの拡充を図り、ホームページを通じてよりよい情報を発信してまいります。

長生SNSサービス終了と 新長生SNSへの移行について

長年ご愛用いただいた長生SNSですが、長生SNSの母体comuu snsが、5月末でサービスを終了いたしました。

については本会規約第9条により、5月末で本サービスを終了させていただきましたが、会員からの要望もあり、広報部として新たな長生SNSを立ち上げました。

<https://www.facebook.com/groups/chouseisns/>

上記URLから新しい長生SNSに入ることができます。

まず始めに、緑色の「+グループに参加」をクリックしてください。

「リクエストが送信されました」に表示が変わり、承認待ちの状態となります。

管理者側が長生会の名簿で確認を行い、承認されますと入会完了です。

(確認には若干のお時間をいただく事があります。ご了承ください)

尚、母体はFacebookなので、現在Facebookを利用していない会員は、Facebookへの登録が必要です。

Facebookは本名での登録が基本です。

現行の長生SNSで使用中のニックネームでの登録はできません。

ご注意ください。

長生SNS会員資格は下記の通りです。

- 1 長生医学会会員
- 2 長生学園在校生
- 3 長生寺、長生学園の教職員・関係者

非公開設定なので、情報が会員以外に公開されることはありません。

安心してご活用下さい。

尚、長生SNSの過去ログは5月末で消去されました。

新しい長生SNSのページをブックマーク、またはお気に入りに登録する事をお勧めいたします。

日本長生医学会広報部

長生医学会専用「治療院ホームページ」制作のご案内

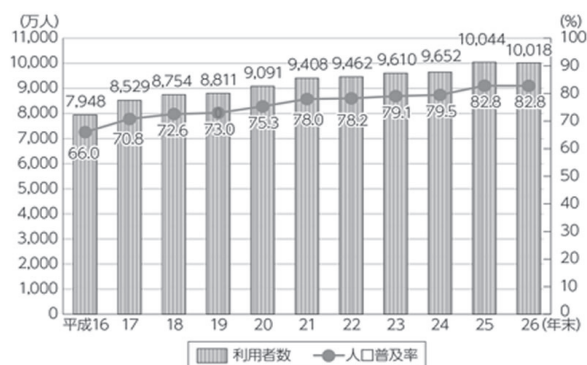
日本長生医学会 総務部

この度、日本長生医学会で専用の「治療院ホームページ」制作を開始しました。

詳細はこちらからご覧いただけます。

掲載サイト：<http://chousei-kensaku.com/hp/> 【長生治療院検索サイト】

現在インターネット利用者は国民の10人に8人以上が使用し、世代別で見ても70代の方でも半数の方が見るような時代になりました。長生医学の良さや長生の先生方の高い治療技術を治療院選びに迷われている患者様に少しでも多く知っていただくためのツールになればと思います。



※総務省調べ

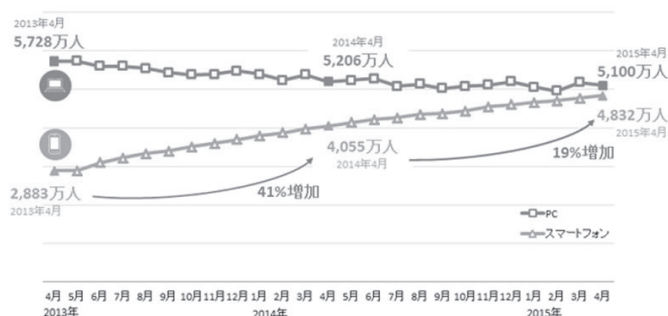
健康社会に貢献するため、積極的にインターネット上で先生方の治療院を紹介してください。

ポイント①

パソコン・スマートフォン・タブレット対応

近年スマートフォン普及率が非常に高まり、2015年4月時点で4,832万人が使用しています。

パソコンのホームページだけでなく、スマートフォン・タブレットにも対応したホームページを作成しますので、患者様がどの端末でも見やすい仕様になっています。



※スマートフォン：Nielsen Mobile NetView ブラウザとアプリからの利用

ポイント②

初期制作費用のみ

毎月かかる費用は長生医学会で負担します。また初期制作費用に関しても、先生方の負担を少なくするために長生医学会で半分負担いたします。

※通常 100,000 円→50,000 円で制作できます。

※独自ドメインやサーバーを希望される際は、別途費用がかかります。(20,000 円/年額)

対象	: 長生学園卒業生
初期費用	: 制作費 : 50,000 円 (税別)
制作期間	: 写真や情報などの素材提供後、7 営業日目安
サンプルページ	: http://chousei-kensaku.com/chirvooin/chouseiinhonbu/
申請方法	: http://chousei-kensaku.com/hp/ 【長生治療院検索サイト】 ※上記詳細ページの下部申請フォームより ※お電話なら長生医学会事務局 (045-521-7486) まで

掲載サンプル

The screenshot displays the homepage of the Chousei University Hospital website. At the top, there is a navigation bar with the hospital's name and logo. Below this, a slider of three photographs shows medical staff in a clinical setting. The main content area features a section titled '院長挨拶' (Message from the Hospital Director) with a small photo of the director. Below that is a '治療院紹介' (Treatment Center Introduction) section, which includes a photo of the building and a table with contact information such as address, phone numbers, and hours. At the bottom, there is a '診療メニュー' (Medical Menu) section with introductory text.

スライダー写真

院長挨拶

治療院紹介

診療メニュー

=支部報告=

中央支部

日 時：7月23日 場 所：長生寺 時 間：10時～15時30分 参加者：50名

学園便り

長生学園 オープンキャンパス開催日程 各回定員30名 要予約

平成29年9月23日(土) 13:00～16:30

10月20日(金) //

11月24日(金) //

平成30年1月20日(土) //

申込みは

WEBサイト <http://chousei.ac.jp/experience/opencampus/form/>

もしくは長生学園事務局03-3738-1630【受付時間9:00～20:00】まで

厚生労働大臣認可
宗教法人総本山長生寺付属



長生学園

〒144-0055 東京都大田区仲六郷2-35-7

TEL 03-3738-1630 FAX 03-3738-1768

URL <http://www.chousei.ac.jp>



平成29年8月28日 印刷

平成29年8月31日 発行

発行者 日本長生医学会会長 柴田政宏

発行所 日本長生医学会本部

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦1-7-10

振替口座 横浜00240-3-2497

☎ 045-521-7486

FAX 045-504-2118

印刷所 有限会社 サン・プリンティング

〒146-0083 東京都大田区千鳥2-31-11

☎ 03-3750-6633